



あさまる通信

第67号 平成19年2月

発行：習志野販売株式会社
〒275-0016
千葉県習志野市津田沼5-11-10 吉田ビル3F
TEL 047-454-2355 FAX 047-454-2357
URL <http://www.asamaru.com/>
e-mail info@asamaru.com

毎月25日は、あさまる通信の発行日です。

▼わらべうたで遊ぼう！

その2

1月20日(土) 谷津コミュニティセンターで谷津図書館主催の子ども講座「わらべうたを歌おう!その2」が開かれました。これは5年前から始まったもので、年度ごとに2回ずつ行われています。谷津図書館では「図書館や本に親しんでもらいたい」と、おはなし会や幼児への本の読み聞かせなどの講習会を開いています。わらべうたの講師は、船橋わらべうたサークルの能田周子先生です。

今回の参加者は幼稚園の年少から小学校4年生の子供16名と、大人3名です。みんなで輪になって1月ならではの「凧あがれ」から始まりました。輪の中に布を持って2人、入ります。そして「凧、凧あがれ、絵凧に字凧、下げたうなりをブンブンさせて、雲まであがれ、天まであがれ」と歌います。そして歌の「天まであがれ」のタイミングで布をたこに見立てて高く放り上げ、高くあがった方が勝ちです。繰り返し遊ぶうちに、歌を覚えてみんなで大きな



声で歌いました。わらべうたは、子供たちをすぐに夢中にしてしまったようです。歌の歌詞には方言や古い言葉があるので、能田先生が説明してくれました。

「ドテカボチャ」は畑で大きいばかりで中がスカスカのカボチャが、日に焼けて食べられないという内容です。「畑」と「カボチャ」といった役割分担を決めて遊んだり、同じ歌でも遊び方を変えたりして想像力を養います。カボチャの代わりに別の野菜を子供たちに考えさせて、発想力を引き出しました。こうして、わらべうたは自然と色々な事が身につくのです。

「わらべうた」は歌と遊びがセットになっています。歌いながら体を使ったコミュニケーションが図れます。小さい子供は親子で、少し大きくなると地域の集団でと、形を変えます。子供たちは歌いながら日本(地域)の文化や季節、行事などを自然と理解するのです。「自分の国の考え方や習慣、行事などを、直接歌声で伝承することが大切です」と能田先生は話してくれました。

▼サクラサク

いよいよ受験も追い込みのシーズンです。受験に合格することを「サクラサク」と表現しますが、由来はご存知ですか?

これは昭和31年に早稲田大学の合格電報の電文で使われたのが始まりです。遠方からの合格確認は、今ではネットで確認できますが、昔は電報だったのです。努力の冬を乗り越えて咲く、春の象徴の桜。入学シーズンに咲く「桜咲く(サクラサク)」というのにはなかなかセンスの良いものです。

ほかにも地方色の豊かなものもあります。千葉大学は「ボウソウノウミハハルラツゲキミヲマツ」房総の海は春を告げ君を待つ」お茶の水女子大学は「オチャカオルお茶香る」、奈良教育大学「ダイブツヨロコブ」、大仏喜ぶ」、三重大「イセエビタイ

リョウウ伊勢海老大漁」、東京大学は「ゴウカク合格」とそのままだったようです。また以前は電報がカタカナで書かれていたので、紛らわしい例もありました。福井大学は「足羽山に花が咲く」でしたが、電文の「アスワヤマニハナガサク」というのは「明日は」だから不合格なのか? 「花が咲く」だから合格なのか? 混乱するようなものもあったとか。名物や地理も知っていないと難しいですね。

最近流行している「合格グッズ」。お菓子では、「キツトカット桜風味」(期間限定)は九州弁の「きつと勝つとお」に掛けています。「キシリトールガム」は「きつちり通る」、「ポッキー」は「吉報」など色々です。「梅干し茶づけ」(永谷園)は、かまぼこに合格の「合」の文字がデザインされ、湯を入れると桜の花が浮かんできます。また期間限定で改



名するお菓子もあります。スナック菓子の「カール」は「ウカール」、飴の「ハイレモン」は「ハイレルモン」と、空前の合格食品プームのようです。東京のタクシーでは、車体全面が桜模様にした「サクラサクタクシー」が湯島天神でお祓いを受け、2月上旬まで運行を予定しています。みなさんも体調管理を万全にして、満開の桜が咲きますように。人はみななにかにはげみ初桜 深見けん二

あさまるinfo

◆新習志野駅前商店会「駅前フリーマーケット」

日時：2月4日(日) 午前10時～午後4時
場所：新習志野駅前メルクス新習志野モール内

◆はじめてのクッキー作り(対象：小学生)

日時：2月10日(土) 午前10時～12時
場所：谷津公民館 調理室
参加費：200円(材料費・保険料)
持ち物：エプロン、三角巾、上履き
定員：20名
申込：谷津公民館 047-452-1509 定員になりしだい締切

◆源氏物語の世界～女人像～(対象：一般成人)

日時：2月10日(土) 午後1時30分～3時30分
場所：サンロード津田沼6階
講師：鈴木正彦氏(和洋女子大学名誉教授)
定員：60名(当日会場にて先着順受付)
参加費：無料
問合せ：大久保図書館 047-475-3213

◆講演会「家庭からみえる社会」～家庭でできる国際協力～

日時：2月16日(金) 午前10時～12時
場所：秋津総合福祉センター 会議室
講師：坂田喜子さん(手をつなぐNPOの会)
会費：無料
問合せ：習志野市ボランティア連絡協議会
吉田 047-452-6316

◆舞台劇「どうぞのいす」

日時：2月18日(日) 午前11時～11時50分
場所：みもみ幼稚園ホール
内容：幼児のための小さな舞台劇
チケット：親子ペア券 前売3,000円 当日3,500円
追加参加券 前売1,600円 当日2,000円
(2才以上はチケットが必要)
申込：NPO法人 ならしの子ども劇場
電話・FAX 047-451-3676
(月～金曜日午前9時30分～午後4時30分)